



機関誌「薬剤学」Web化のお知らせ

本学会、日本薬剤学会の機関誌「薬剤学」が、77巻第1号（2017年1月刊）から完全 Web 化されることになりました（以下、Web 版）。ただし、毎巻第1号については、まとめ的な位置付けで従来どおりの紙媒体の冊子（以下、冊子版）が会員宛送付されます。したがって、本号（77-1号）は冊子版のままですが、次号（77-2号）以降は Web 版となり、新しい運用法が適用されます。

以下、主として Web 版の今後の具体的な運用方法につきまして説明致します。

● Web 化に至った経緯

「薬剤学」は2014年1月刊から J-STAGE¹へ掲載しており、ネットから閲覧できるので、既に Web 化されていると言えますが、掲載のルールは下記のとおりであり、投稿論文や総説以外、つまり会員向けの機関誌的な記事・情報は、半年後に一般公開となっています。

- (1) 登載論文・記事の範囲：巻頭のグラビア、巻末の会告記事を除くすべての論文・記事。
- (2) 閲覧可能時期：投稿論文など原著論文については、学会誌発行と同時に閲覧できるが、それ以外の記事は、6箇月後の公開とする。

当学会は2012年度から公益社団法人に移行し、公益法人としての要件の一つに“健全な財政基盤の確保”があります。機関誌出版にかかる費用は、送料も含めて個人会員会費の半分以上にのぼり、財政を逼迫しているとの指摘が理事会から提起され、これを契機に、編集委員会および広報委員会において Web 化について具体的な検討を行ってきました。

その結果、従来の冊子版も捨てがたい魅力はありますが、世の中、電子書籍が普及し、会員各位におかれましても、ネットワーク環境においてハード的、ソフト的に充足している現状において、会員サービスとしての機関誌「薬剤学」を完全 Web 化することへの障害は極めて少ないと判断し、今回の措置に至ったものです。

● Web 化に際しての新しい運用ルール

「薬剤学」はあくまで会員サービスとしての機関誌の位置付けですので、それを考慮し、次表に示すように J-STAGE での一般公開と学会ウェブサイトでの一般公開の二本立てとします。これとは別に年1回、毎巻第1号のみ冊子版が追加発行されます。

表：「薬剤学」掲載記事別掲載(運用)ルール

| 記事の種類 | 学会ウェブサイト | J-STAGE 掲載 |
|------------------|----------|-----------------------------|
| (1) 一般論文 総説など | — | 即時公開 |
| (2) 上記以外の 記事 | — | PW でログイン* (6箇月後) 一般公開 |
| (3) グラビア | 即時公開 | — |
| (4) 会告 | 即時公開 | — |

*PW でログイン：J-STAGE 内で会員認証 ID、PW でログイン

表中(1)、(2)の記事についての J-STAGE 搭載ルール（太枠内）は、非会員にとっては現在と同じですが、(2)については即時登載後、会員はパスワード（PW）でログインし、即時閲覧可能となるが、一般公開は6箇月後になります。

これらに従来は冊子版のみに掲載されていた巻頭グラビアと巻末の学会会告の Web への掲載方法について(3)、(4)に示しました。

● 新たに Web 化するグラビアについて

会員向け機関誌であることから、(3)グラビアについては pdf 化し学会ウェブサイトへ一般公開します。

グラビアは学会の活動状況をビジュアルに伝えるものとして非会員への広報ツールともなり得るので、他の機関誌にないユニークな企画として一般公開するものです。

なお、Web での写真掲載については、顔の写り込みなどが肖像権、個人情報への配慮が必要となりますが、学術会議やシンポジウム等の公的な場での写真であるという認識の下、会場の様子を臨場感を持ってお伝えすることのメリットの方が大きいと判断し、加工なしに掲載することとします。ただし、事業時の事前アナウンスを徹底するとともに、公開後にクレームがあれば適宜削除する旨の宣言を行うなどの対策を講じることで対応します。

以上、機関誌の完全 Web 化に当たり、従来以上の速報性と掲載記事量・情報量の増大で薬剤学の汎用ツールとなることを祈念するものです。

「薬剤学」編集委員会

¹ J-STAGE：独立行政法人 科学技術振興機構（JST）構築の科学技術情報発信・流通総合システム